

食品ロスの削減と食支援に貢献する「ファミマフードドライブ」 全国に 3000 通りの支援モデルを構築

～さらなる食支援と地域の連携を目指し、回収ボックスをリニューアル～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、地域における食品ロスの削減と食支援を目的に展開する「ファミマフードドライブ」の取り組みが、2024年2月20日（火）に3000店舗を達成しましたのでお知らせいたします。

ファミマフードドライブは、ファミリーマートと各地域のNPOや社会福祉協議会などがパートナーシップを組み、お寄せいただいた食品を必要とする人に届ける取り組みであり、全国に3000通りの支援モデルを構築し実施しております。また、さらなる食支援への貢献と地域の連携を図るため、ファミマフードドライブ回収ボックスのリニューアルを2024年2月28日（水）から順次実施いたします。



3000店舗目のファミリーマートコレクトマーク金山駅前店（住所：愛知県名古屋市）

（左：あいち子ども食堂ネットワーク（日本幼児食協会 代表理事 小出様）、右：服部オーナー）

■ファミマフードドライブとは

ファミマフードドライブは、ご家庭にある食べきれない食品をファミリーマート店舗にお寄せいただき、地域でこども食堂やフードパントリーなどの活動に取り組む NPO や社会福祉協議会などの協力パートナーを通じて、支援が必要な方々にお届けする取り組みです。当社の独自性のある SDGs 活動の取り組みの 1 つで、2021 年 4 月から順次全国の店舗で展開しております。ファミマフードドライブの取り組みを通じて、ご家庭にある食べきれない食品が活用され、食品ロスの削減につながります。また、全国に店舗があるファミリーマートを回収拠点とすることで、地域の皆さまに、気軽に社会貢献活動に参加していただくことができます。

2021 年 4 月から 2023 年 8 月までに店舗にお寄せいただいた食品の合計は、138.5 トンとなり、これはお茶碗約 920 万杯分のご飯の量に相当します。※お茶碗 1 杯のご飯の量を約 150 グラムとして計算

食料品をはじめとした物価高騰の影響が拡大するなか、食支援に対する重要性がますます高まっております。地域の皆さまや協力パートナーの皆さまとともに行う、支え合いの取り組みであるファミマフードドライブを通じて、地域における社会課題の解決と食支援の応援に、今後もさらに取り組んでまいります。

※受付可能な食品の条件や、取り組みの概要については、こちらからご覧いただけます。

https://www.family.co.jp/sustainability/material_issues/society/community/fooddrive.html

■ファミマフードドライブ回収ボックスをリニューアル

このたび、店舗内での視認性や使いやすさを考慮した回収ボックスにリニューアルし、お寄せいただく食品の増加に繋げてまいります。また、回収ボックスに協力パートナーの団体名を明記することで、ご協力いただく皆さまに地域内の連携をお伝えしてまいります。



<リニューアルポイント>

- ・色覚特性に配慮したユニバーサルカラーを使用。
- ・回収ボックスの下部を取り外すことで、店内のカウンターにも設置が可能。

<継続の取り組み>

- ・海洋プラスチックごみを原材料の一部に使用したケースを採用。

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上